

国(厚生労働省)が所管する省庁大学校のご案内!

職業能力開発短期 大学校

職業能力開発 大学校

職業能力開発総合大学校

【専門課程】: 高校卒業者を対象に2年間の訓練課程を設置

【応用課程】: 専門課程修了者を対象にさらに2年間の訓練課程を設置

【総合課程】: 高校卒業者を対象に4年間の訓練課程を設置。日本唯一の「生産技術」の学士を取得

ものづくりの実践技能者、生産管理のリーダーを養成します。実験・実習を重視し、ものづくり現場に密着した訓練環境を整備しています。

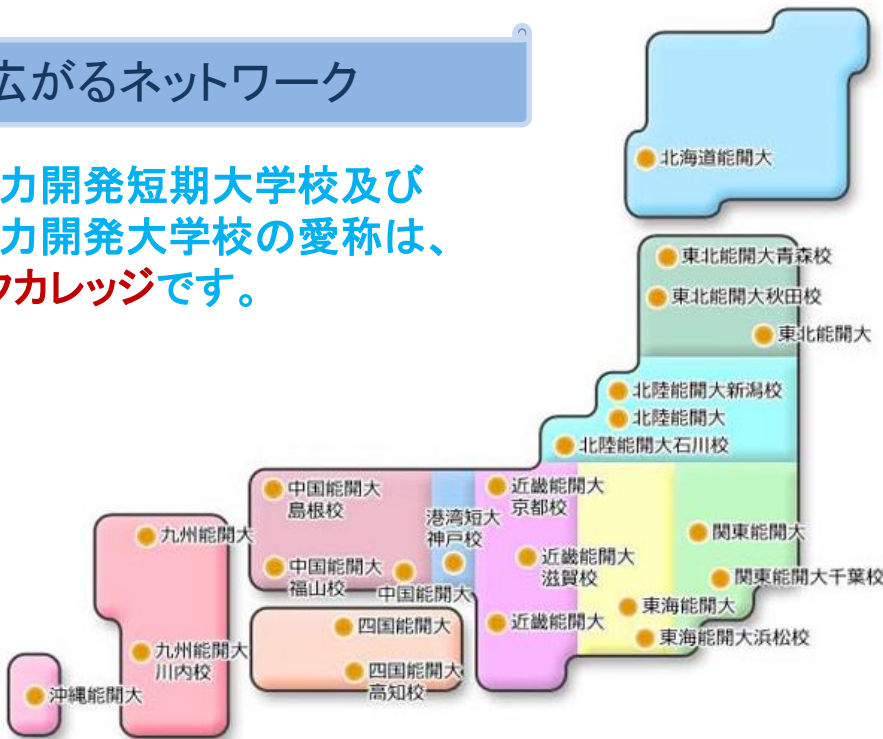
将来的に質の高い職業訓練指導員となり得る人材を養成します。



我が国の貴重な資源「高度なものづくりを支える人材」を育成します。

全国へ広がるネットワーク

職業能力開発短期大学校及び
職業能力開発大学校の愛称は、**ポリテクカレッジ**です。



工業高校とポリテクカレッジは、
連携強化を図り、地元企業や
地域に貢献しています。

地域社会に開かれたポリテクカレッジを目指しています。

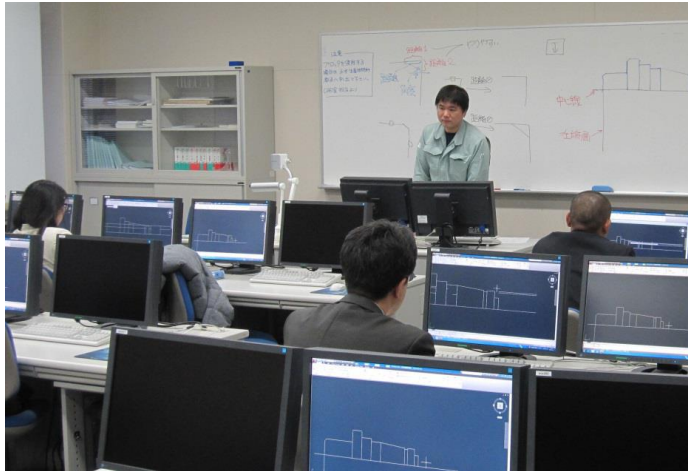
地域の工業高校など教育訓練機関との連携

地域の大学・高専、工業高校等の教員に向けた研修や高校生に向けたものづくり体験講座などを実施し、地域との連携に努めています。

事例紹介

1 高校教員を対象とした技術研修

北海道ポリテクカレッジ(北海道小樽市)では、高校教員の技術力を向上させ、高校生に対する実践的な技術教育を充実させるため、北海道内の工業高校教員19名に対し、旋盤・CAD・シーケンス制御の研修を行いました。



CAD研修の風景

	開始時刻	実施内容
1 日目	9:00	開会式 講師紹介等
	9:30	実技研修(午前)
	12:00	学食での昼食
	13:00	実技研修(午後)
	15:50	ポリテクカレッジで実施している 科の概要説明及び施設見学
	16:30	1日目終了
2 日目	9:00	実技研修(午前)
	12:00	閉会式
	12:30	研修終了

研修スケジュール

2 高校生を対象とした出前授業

ポリテクカレッジ浜松(静岡県浜松市)では、若年者のものづくり分野の理解を深め、ものづくり産業への職業観を涵養するため、静岡県立科学技術高等学校の電子工学科2年生42名を対象に、ジョイスティック型マウスの製作出前授業を実施しました。



「ジョイスティック型マウス」の製作風景

こうした連携は全国のポリテクカレッジで実施されており、ポリテクカレッジの指導員を派遣、最新設備の体験(3Dプリンター)、教材情報の提供など、幅広くポリテクカレッジを活用いただいています。

高い「ものづくり力」を活かして、様々な挑戦を行っています。

技能五輪全国大会への出場

ポリテクカレッジの学生が、社会人主体の地方大会を勝ち上がり、全国大会の4職種競技に7校13名が出場しました。この大会は、23歳以下の社会人を含む技能者が競い合い、さらなるレベルアップを図る場として、昭和38年から毎年開催されています。

また、この大会は、2年に1度開催される「技能五輪国際大会」の選考会も兼ねており、平成27年8月にブラジル・サンパウロで開催される第43回大会の日本代表に選ばれる選手と同じ土俵で技能を競い合い、ポリテクカレッジの学生として、技能のレベルの高さを実証しています。



若年者ものづくり競技大会へ出場、厚生労働大臣賞を獲得

岩手県及び滋賀県で開催された第9回若年者ものづくり競技大会にポリテクカレッジ18校から70名の学生が参加し、20名の学生が入賞しました。

特に、「旋盤」「機械製図(CAD)」「ITネットワークシステム管理」の3種目で厚生労働大臣賞(第1位)を獲得したほか、3種目で第2位、4種目で第3位、1種目で敢闘賞を受賞しました。



アグリビジネス創出フェアに研究作品を出展

全国の産学官の関係者が一同に集い、全国的な規模で開催される技術交流展示会(アグリビジネス創出フェア2014(主催:農林水産省))に、産学連携による7校9作品の研究成果物を出展し、ポリテクカレッジが長年培ってきた、複数の分野の技術を融合する「ものづくり力」、「人材育成ノウハウ」等について、多くの方に高い評価をいただきました。また、研究・技術プレゼンテーションでポリテクカレッジの地域への貢献と高い技能・技術力を発表しました。



各種コンテスト・競技会等に参加、高い技能・技術力を実証

- 2014年スターリングテクノラリーに近畿能開大滋賀校が参加し、金賞受賞(3年連続)
 - 第17回木造耐力壁ジャパンカップに東北能開大秋田校、近畿能開大滋賀校が参加し、近畿能開大滋賀校が総合優勝(3年連続)及び環境負荷部門賞受賞
 - 第15回コンクリートカー競争大会に四国能開大が参加し、総合優勝(2年連続)
 - Device2Cloudコンテスト2014に中国能開大が参加し、優勝
 - 海洋ロボットコンテスト・プレ大会のAVU部門に九州能開大、沖縄能開大が参加し、沖縄能開大が最優秀賞、九州能開大が優秀賞受賞
 - Pico-EV・エコチャレンジ2014に参加した九州能開大が第3位、中国能開大が第6位に入賞し、両校ともベストプレゼンテーション賞を受賞
 - 2014WORLD ECONO MOVEのFC部門に四国能開大が参加し、第2位及び特別賞受賞
 - 第26回全日本ロボット相撲全国大会に東海能開大が参加し、第3位入賞
 - 全日本製造業コマ大戦2014に北海道能開大、関東能開大、四国能開大、九州能開大が参加し、四国能開大が地方予選でベストパフォーマンス賞受賞
 - 第21回かわさきロボット競技大会に北陸能開大新潟校、東海能開大が参加
 - ETロボコン2014に東北能開大秋田校、関東能開大千葉校、東海能開大浜松校、中国能開大、四国能開大、沖縄能開大が参加
 - 第35回全日本マイクロマウス大会に東北能開大秋田校、中国能開大が参加
 - 2014Ene-1 GP SUZUKAIに北陸能開大、近畿能開大滋賀校が参加
 - FIA ALTERNATIVE ENERGIES CUP ソーラーカーレース鈴鹿2014に北陸能開大、近畿能開大滋賀校が参加
- 等 全てのポリテクカレッジが各種競技大会等に参加しています。

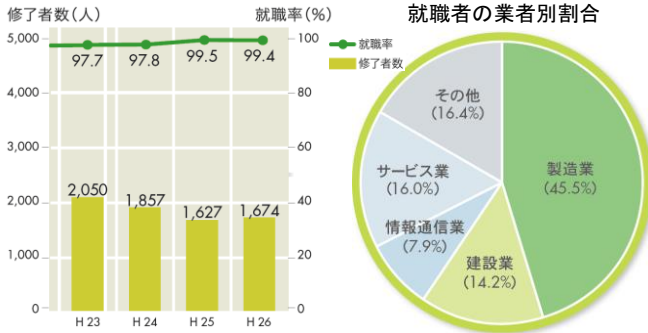


就職実績

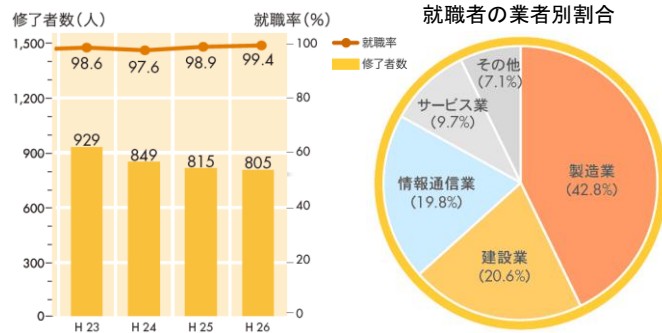
ほぼ100%の就職率です。

地域産業界との連携に重点を置き、人材ニーズに対応した教育訓練を実施しているため、毎年ほぼ100%の就職実績となっています。

専門課程(短大卒相当)



応用課程(大学卒相当)



※人事院規則により、ポリテクカレッジの修了生は短大2卒(専門課程)または大学4卒(応用課程)相当に格付けされています。

学生サポート

学費

- 授業料: **専門課程** **応用課程** 年間390,000円
- 入校料: **専門課程** 169,200円 **応用課程** 112,800円

技能者育成資金融資

経済的な理由など、一定の要件を満たした場合に、労働金庫から一定限度額まで融資が受けられる経済支援制度があります。

学生寮

自宅から通学できない方には、個室の学生寮を用意しています。

- 寮費: 室料/月額4,300円~4,700円
- 食費: 月額27,900円(平均)
- その他共益費等が必要になります。

工業高校校長先生へのメッセージ

2018年問題と呼ばれる18歳人口の減少、子供たちのものづくり、理系離れが加速する中で、日本のものづくり人材の不足が危惧されます。

私どもポリテクカレッジでは、将来の「高度なものづくりを支える人材」の育成を使命としており、在校生のみならず、小学生、中学生、高校生に対してもキャリア教育の支援を行うほか、ものづくり体験教室などにより、ものづくりに触れる機会が激減している児童や生徒にもものづくり職業の面白さ、生涯の職業としての魅力を伝え、ものづくり専門職への憧れを抱かせる啓発活動に取り組んでいます。

また、私どもと目的を同じとする工業高校の教員や生徒のみならずには、先に紹介させていただきましたように、技術研修や出前授業のほか、技能検定準備対策などポリテクカレッジが保有するノウハウを提供させていただいています。

是非、この機会にポリテクカレッジを知っていただき、お気軽に相談、利活用頂ければ幸いです。ご相談や利活用に係るお問い合わせは、最寄りのポリテクカレッジまでお問い合わせください。



ポリテクカレッジ
ホームページ

ポリテクカレッジ

検索

http://www.jeed.or.jp/js/kousotsusya/polytech_co/



ポリテクカレッジ

